

WILL of GOD 316

神のみこころを知るには？

「この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」

ローマ12章2節

神のみこころを知り、それを行うことが非常に重要です。イエスのようになりましょう。イエスは、ご自分が地上に来られたのは、「自分の思いを行うためではなく、わたしを遣わされた方のみこころを行うためです」と言われました（ヨハネ6章38節）。神のみこころの大部分は、同じようにすべての信者に当てはまります。しかし、神には信者一人ひとりに合わせたみこころがあり、日々の信仰生活で神と歩みながら成長するにつれ、神は徐々に啓示してくださいます。神のみこころを知ることはいくらでもできますし、神はそのことを理解できるようにしてくださいます。「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる」（箴言3章5～6節）。すべての信者に対する神の普遍的なみこころは聖書から分かります。神が一人ひとりに合わせたみこころは、そのみことばと、信仰深い従順な生活との矛盾のない結びつきとして分かります。その従順さに基づき、あなたに対する神のみこころに気づき、従うことができるようになります。父なる神に尋ねましょう。神のみことば、神の知恵、神の民、神の平安によって導いて頂きましょう。神のみこころが分かったら、神に従いましょう。

神の普遍的なみこころ。神の普遍的なみこころのほとんどは、聖書の戒め、原理、模範から見て取れます。聖書こそが、人生における神のみこころを知るおもな源です。「あなたのみことばは、私の足のともしび。私の道の光です」（詩篇 119章105節）。

1.戒め。次のように、聖書にはすべての信者に向けた様々な戒めがあります。「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられる」（1テサ5章16～18節）。「神のみこころは、あなたがたが聖なる者となることです。あなたがたが淫らな行いを避け」（1テサ4章3節）。イエスは言われました。「もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです」（ヨハネ14章15節）。戒めの文脈を理解しましょう。神はノアに箱舟を作るように言われましたが（創世記6章14節）、あなたにそれをするようには言われませんでした。神はダビデにヘブロンに行くように言われましたが（2サムエル2章1節）、あなたにそれをするようには言われませんでした。戒めを文脈から切り離してはいけません。

2.原理。従うべき聖書の原理があります。良き管理人の原理は、ルカ16章1～13節にあります。信仰生活の代償は、ルカ14章の終わりにあります。失われた人々を見つけるという原理は、ルカ15章で挙げている3つのたとえ話の中にあります。これらの原理や聖書の他の原理に従いましょう。

3.模範。聖書の戒めと原理からは、人生における神の普遍的なみこころが得られます。聖書には、従うべき模範が含まれています。最良の模範はイエスの生き方です。イエスは弟子の足を洗った後に言われました。「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、あなたがたに模範を示したのです」（ヨハネ13章15節）。私たちは、へりくだるイエスの模範に従わなければなりません（ピリピ2章3～5節）。イエスの足跡をたどらなければなりません。「このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残された」（1ペテロ2章21節）。「それによって、自分が神のうちにいることが分かります。神のうちにとどまっていると言う人は、自分もイエスが生まれたように歩まなければなりません」（1ヨハネ2章5～6節）。

警告。神のみことばは真実です（詩篇119章160節）。神は、あなたがみことばに背くように仕向けたり、そうするように言われたりすることはありません。イエスは、私たちを整えてくれる指導者たちを与えてくださいます（エペソ4章11～14節）。しかし、偽教師たちが大勢います（2テモテ4章3～4節）。神がみことばに背くように言われているという言葉を決して信じてはいけません。神はそのようなことは言われません。教会指導者から神のみことばに背くように言われたら、それは偽りの教えです。

一人ひとりに合わせた神のみこころ。神は、信じる者一人ひとりに合わせたみこころをお持ちです（詩篇32章8節、箴言3章5～6節）。神の普遍的なみこころに従いましょう。それから一人ひとりに合わせたみこころを知り、それを教えてくださるよう神に強く願いましょう。神のみことば、神の知恵、神の民、神の平安から答えを求めましょう。

求める。ダビデの祈りを唱えましょう。「あなたのみこころを行うことを教えてください」（詩篇143章10節）。使徒パウロは、コロサイの信者が「神のみこころについての知識に満たされますように」（コロサイ1章9節）と祈りました。自分のための祈りも、他者のための祈りも、神のみこころを知り、それを行えるように願うことであるべきです。

導いてもらう。神は、ご自分のみことば、ご自分の知恵、ご自分の民、ご自分の平安を通して一人ひとりに合わせたみこころを示してください。みこころを示して下さるよう神に願いましょう。神はこれらのものを通して祈りに応えてくださいます。

1.みことば。一人ひとりに合わせた神のみことばを知ることは、日頃の聖書学習の成果です。自分に対する神のみこころは、みことばから知恵と理解力を得るにつれて明らかになります。神は、みことばに反することをするように仕向けることは決してありません。

2.知恵。神の知恵は、霊的な従順さからもたらされます（1コリント2章14～15節）。「この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります」（ローマ12章2節）。神に知恵を求めましょう。「あなたがたのうちに、知恵に欠けている人がいるなら ... 神に求めなさい。そうすれば与えられます」（ヤコブ1章5節）。

3.民。神の民は、神のみこころを理解するための手段となります。言葉や文字で神のみことばを正しく教える人は参考になります（コロサイ1章28節）。成熟した信者から助言を得るとよいでしょう。数人の助言者に聞くのが理想です。「よく相談しなければ、計画は倒れる。多くの助言者によって、それは成功する」（箴言15章22節）。成熟した信者が完璧であるということではありませんが、神のみこころを見極められるように、重要な知見を示してくれます。

4.平安。神の平安は、一人ひとりに合わせた神のみこころを最終的に示します。「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい」（コロサイ3章15節）。「そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と意思をキリスト・イエスにあって守ってくれます」（ピリピ4章7節）。この平安は、祈り、聖書学習、霊的な知恵、霊的に成熟した助言者の知見に基づく決断について、神からいただく深い正しさの感覚です。神の平安を求めて待ちましょう。

行動する。何かが神のみこころであるかどうかを尋ねると、パウロに対する答えのように、「そうではない」と言われる場合があります（2コリント12章7～10節）。「待ちなさい」と言われるかもしれません。「待ちなさい」という神の答えは、大きな祝福をもたらすことがあります（イザヤ書40章31節）。神が「そうです」と答えるなら、たとえそのみこころが難しい、よく分からない、あるいは犠牲を伴う場合でも行いましょう。心からみこころを行うことを喜びとしなければなりません（詩篇40章8節、エペソ6章5～6節）。キリストの名によって教えられる偽りの答えに気をつけなければいけません。神のみこころであることが確実に分かるときは従いましょう。

『神のみこころを知るには?』© (John D. Morris III著、2026年) は、Acts One Eightにより刊行されました。この文言全文を含め、内容を変更することなく自由に印刷、投稿、メールあるいはメッセージで送信することができます。1ページ目の上部にあなたのミニストリーや教会の名前やロゴを加え、2ページ目の最下部近くの罫線の下に問い合わせ先を加えても構いません。WillofGod316.org は、聖書のみに基づいており、信者が神のみこころに気づけるようにすることが目的です。（可能であれば英語で）Acts One Eight のHello@Mail316.orgまでメールでお問い合わせください。翻訳はwww.ChristianLingua.comによるものです。『神のみこころを知るには?』は48の言語で読むことが可能であり、www.WillofGod316.orgで無料で閲覧できます。この翻訳における聖書の引用文は『新改訳2017』によるものです。